

令和5年度 北区立王子小学校 自己評価報告書

北区立王子小学校校長 原田 英孝

1 自己評価の結果と分析

本校では、自己評価項目に対して「A（4点）概ね達成できている。B（3点）具体的な活動がなされており、成果も現れている。C（2点）具体的な活動がなされているが成果が現れていない。D（1点）具体的な活動がなされておらず成果もでていない。」の4段階で評価を行った。（回答有効数 391件）

評価項目を数値化し、前年度との比較で、課題の把握及び次年度の改善すべき事項を明確化した。一人1台端末「きたコン」が導入されて三年目、お知らせや配信などの電子化も進んできている。昨年度から大きな数値の落ち込みはないものの、改善すべき事項や更なる向上を目指したい事項もある。次年度に向け、教職員間の共通理解をしっかりと図り、より連携を深めていくことで、保護者や地域の信頼関係構築に努める。

《経年比較 設問ごと》

*数値は肯定群の割合(%)

	設問 (R4と変更したものは結果なし)	保護者		児童		教職員	
		R5	R4	R5	R4	R5	R4
1	児童は、学校に毎日楽しく登校していますか	88	89	84	86	100	98
2	本校では、きたコンやデジタル教科書、オンライン教材等を授業に活用している	82	84	85	94	92	96
3	本校では、自分で考え、学び合う授業を工夫している	82	79	80	89	96	96
4	本校では、分かりやすい授業を工夫している	81	78	70	79	92	100
5	本校は、地域の人や専門家を招いた学習活動を工夫している	55	59	69	68	73	62
6	本校の子供たちは、学校生活のきまりを守って生活している	85	86	81	85	62	87
7	教職員やスクールカウンセラーは、協力して問題の解決に当たっている	67	90	86	64	92	98
8	本校は、いじめの未然防止、早期対応に取り組んでいる	58	52	80	84	89	100
9	本校の子供たちは、お互いの個性や違いを認め合っている	78	73	77	83	81	94
10	本校の子供たちは、係や学級会、行事や集会、クラブや委員会などを楽しんでいる	90	88	87	89	92	98
11	本校では、人権教育の観点から、教職員が丁寧な言葉づかいで指導している	84	84	87	89	85	100
12	本校では、教職員が、協力して教育活動に取り組んでいる	81	78	93	93	81	98
13	本校では、王子地域の特色を生かした、学習活動を工夫している	84	73	69	66	92	82
14	学校からの <u>おたより</u> やメール・王子小おたよりサイトなどのお知らせは、伝わっている	89	88	85	85	77	91

2 課題と改善策

すべての設問において概ね肯定的な意見をもっているということが分かる。

一方で、次に示す設問に対する意見に関しては、いずれの設問も保護者の「分からない」の回答が多い。より積極的かつ継続的な情報発信に努めるとともに、改善のための具体策を講じる必要がある。

- ⑤地域の人や専門家を招いた学習活動
- ⑦教職員が協力して問題解決にあっているか
- ⑧いじめの未然防止・早期対応
- ⑨子ども達はお互いの個性や違いを認め合っているか
- ⑬王子地域の特色を生かした学習活動を工夫しているか

王子地域の特色を生かした教育活動や地域の人や専門家を招いた学習活動では、新型コロナウイルス感染症対策により、学習形態や活動内容を段階的に解除している現状があったことが理由の一つと考えられる。従来の形態に戻すのではなく、令和型の教育活動を児童と共に作り上げていく、いわば自走式の活動への転換を、教職員の共通理解の元、進めていきたい。またスクールコーディネーターとも引き続き協働していく。

3 自由記述について

	意見・要望等	改善策等
ア	面談や保護者会もオンライン参加できると助かる。プリントを読むだけの保護者会はあまり意味がないと思う。	・提案通り基本は対面で行うが、宿泊の説明はオンラインを活用することも検討する。
イ	下校時刻が学年便りとかわる場合には、メールで連絡してほしい。また、学年便りの予定は、次の月の一週目までいれてほしい。	・カレンダーの週の終わりまでは入れる。 ・次の月の大事なお知らせは、別途文面で。
ウ	水筒の中身や体操服についてのさまりなど、学校体制のさまりの堅さを感じる。さまりが細かくて、子供が萎縮しているような気がする。	・水筒の中身は、水、お茶とする。暑い時期は、スポーツドリンクについても検討する。
エ	登校時に、信号・横断歩道のない場所を横断している児童を見かける。児童と保護者に声かけてほしい。本来家庭で親が教えるべき事だが、何か起こる前に学校からも登下校時の歩き方を指導してほしい。(近所からお叱りを受けている)交通指導員さんに挨拶をするように家庭でも話しているが、学校でも全体に呼びかけてほしい。	・年度始めに指導員さんの紹介を行い、あいさつについても指導する。
オ	体罰などの指導はだめだが、もう少し時間を守る指導を厳しくしてほしい。	・下校時刻を守るよう指導する。
カ	通学路の変更が年度当初と変わったので、お知らせしてほしかった。	・重要なお知らせをまなびポケットで配信する場合は、既読確認をする。
キ	学校での歯磨きを再開しないのか。	・水道の数に難あり。学校医や養護教諭と相談し、検討していく。
ク	校庭で遊ぶ機会がもっとあればうれしい。	・低・高分けての遊びは変更しない。朝遊びも今の登校時間のままでは難しい。
ケ	絵の具セットは学校で洗ってほしい。	・学習時間の確保と持ち物の管理(使い終わった色の補充など)のため、持ち帰って洗う。 ・絵の具を使う分だけ出す指導は必要。
コ	いじめに対する対処について強化いただきたい。 校外で下の子が6年生の女子児童から暴言を受けたことが何度もある。先	・引き続き異学年で仲良くする指導をする。トラブルが合った場合は教師間で情報を共有

	生と大人がいない場合でも自分より小さい子どもに優しくする教育を希望します。	し、早期対応を行う。
サ	児童には「さん」付けで呼ぶように指導しているが、一部の先生が、呼び捨てや「お前」と言うことがあると聞いている。まず先生がきちんと守るということを徹底した方がよい。 教員が指導する際に、驚くような言葉づかいをしている場面を見て、子ども自身が指導されている場面ではないのに、傷ついていた。そのように感じている子どもがいることも、心に留めておいてほしい。	・叱る場面での言葉遣いに気を付ける。
シ	暑さ対策について学年主任と校長先生に対策を提案したが、全く取り合ってもらえないうちに長い夏が終わった。登下校中の水分補給を許可してほしい。	・雨の日と同様に暑さの厳しい日は、早めに校舎に入室させる等の対応を適宜行っています。 ・登下校時に水分補給が必要な際は道の端に寄り、止まって給水することを指導する。
ス	「子どもの人権」に沿った校則と教育がまずあってほしい。具体的には、安全面が確保できれば防寒用品にロゴがあってもいいと思うし、休み時間の過ごし方（必ず外に行けと言われる。）を子どもに決めさせてほしい。子どもの何の考える力を伸ばしたいのかがやや疑問。	・引き続き、人権に配慮した教育を心がける。 (体調不良の場合は室内で過ごすようにしているので、保護者の方には、健康な児童に外遊びをすすめる理由について理解していただく。)
セ	学校は勉強をするところなので、集中できる環境の提供に尽力してほしい。	・引き続き、学習環境に配慮して授業を行う。 困った時は複数の教員で対応する。
ソ	子どもが危険を感じる重さの日も多いので、毎日の持ち物について再検討してほしい。	・学校置きの教科書や教材を適宜見直しつつ、引き続き登下校時の負担を配慮する。
タ	学力について目を見張る取り組みを行っているとは言えない。	・学校側が行っている取り組みをお便り等で丁寧に説明する。
チ	王子学級の教員や講師、ヘルプ要員を増やしてほしい。	・人材（学生ボランティア等）は探している。 当面は校内で対応していく。
ツ	不登校に陥っている子供のケアをして、学習権を保障してほしい。	・個別に対応の提案をしている。オンライン授業に関しては、学校で統一基準を設定する。
テ	クラス内での暴言・暴力行為をする児童に対しての具体的な対策・対応策が見えない。	・必要に応じて学級便り、まなびポケット等で学級の様子を伝えていく方法もある。
ト	困ったとき相談できるように、定期的に SC の連絡や予約の紙を配ってほしい。	・学校便りのカレンダーに SC の来校日を入れる。スクールカウンセラーだよりで知らせる。
ナ	お便り系のプリントは、情報が分散していて見にくい。一民間企業に委託してはどうか。学年便りに詳細は後日と書いてあって、いきなり 2 日前に言われて厳しかった。せめて土日をはさんでほしい。親の参加が必要な予定は、最低でも 1 ヶ月前には知りたい。	・年度当初に、お便りの棲み分けについて知らせる。情報の提供が遅くならないよう発信に気をつける。
ニ	きたコンが重いので低学年だけでも、変えてほしい。	・令和 7 年度に変更予定
ヌ	手紙を持ってこないことが多いので、重要なものはリアルタイムでサイトにのせてほしい。おたよりをできるたでデジタル化してほしい。 メールでもお便りを更新したことを知らせてほしい。 運動会の情報がお頼りサイトにあがらず、情報集めに苦労した。	・お便りをきたコンでつくるようにする。 ・毎月 1 日に、メールで通知を送る。

	デジタルと紙の併用でチェック先が多いので、どちらかに統一してもらえるとありがたい。	
ネ	きたコンの利用頻度が低いので、必要な時にもたせるようにしてほしい。きたコンの使い方がクラスによって差があるようで、少し気になる。	・きたコンの活用段階表を教職員に周知して、どの場面できたコンを使えばよいかを考えて授業づくりを行う。
ノ	欠席した場合にオンラインで授業に参加できるかがわからない。	・出席停止の場合のみオンラインで参加できる。(特別な事情がある場合は、担任と相談する。)
ハ	お便りサイトの読み込みに時間がかかるから、何とかしてほしい。	・おたよりをきたコンでつくることで解消できる。
ヒ	きたコンの活用を、家庭でもできるようにしてほしい。充電のためだけに持ち帰るのは不合理に感じる。	・文房具と同じという考えなので、持ち帰りを推奨する。・学校と家庭の学びがつながるように授業改善を図る。
フ	人数が増えた関係なのか、行事がバツとしない。いろいろな経験をさせてあげてほしい。クレーム対策なのか、子どもへの過剰な配慮なのか、極端な平等思想なのか分からないが、学校行事が手ぬるい活動に変化しているのは理解しがたい。改善をお願いします。一解決策に保護者や地域で協力できることがあれば、賛同したい。	・なにがバツとしないのか、色々とは具体的に何か、手ぬるいとは何かが分からないため回答できない。・保護者や地域で協力してもらえ内容を検討する。・特活だけでなく、学校運営として今後検討する。
ヘ	運動会をあたたかい時期に開催してほしい。	・来年度は周年行事、音楽会との兼ね合いを考えて、熱中症のリスクがない時期にしたい。春の場合は中学校と希望が被るので相談。
ホ	運動会がスポーツフェスティバルになって、ダンス中心になって残念。競技をもっと増やしてほしい。	・ねらいに沿うのであれば「大玉送り」がよい。競技を増やすのであれば、午後も行うことになる。 ・教員の反省、保護者からのアンケートを見て、判断していく。
マ	運動会でもっと競争を取り入れて、勝つことの喜び、負けることの悔しさを経験させてほしい。	・競争は日ごろの体育の授業や大縄大会などで行っているため、スポーツフェスタでは重視しない。
ミ	運動会や持久走大会と言った行事が軽視されすぎていて、運動能力に顕著に表れている。	・体育授業を改善する。
ム	プールの着替えは、低学年はカーテンで仕切るなどして、分けてほしい。	・来年度からは全学年、更衣場所を性別で分ける。移動が難しい学年の教室にカーテンを付けることも検討したい。
メ	給食の複数のおかずには髪の毛が混入していることがあったようで、衛生面での管理が心配。	・配膳時に教員・児童共に身支度を整える事を徹底する。
モ	前歯をケガしたが学校から連絡もなく、後の経緯や具体的な対策などの説明がなく驚いた。頭部のけがについては連絡いただけると安心できる。	・首から上のけがに関しては必ず、その他のけがに置いては状況に応じて家庭連絡を。